

キャラクター名
松田 椎斗

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
	ブラックドッグ				
オプション		年齢	17歳	性別	男
覚醒	素体	衝動	飢餓	初期侵食率	34 %
出自	天涯孤独	経験	実験体	邂逅	貸し

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	4	1	0			5	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	0	0	1			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	2
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
アームブレード	白兵	5r+1	3	9		対象のガード値-5
イオノクラフト		0	-	-		侵食値+1
雷の加護		3r	-	-		侵食値+2
轟く者	白兵	10r+1	-	9		アームズリンク+コンセントレイト 対象のガード値-5 侵食値+4

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: 要人への貸し	
コネ: 情報屋	
コネ: 警察官	
コネ: UGN幹部	
モバイルPC	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
高校の同級生たち	P 憧憬	N 疎外感		
猫川美亜	P 有為	N 脅威		
研究員	P 同情	N 敵愾心		
雷帝	P	N		
幾島 圭司	P 好意	N 偏愛		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト: ブラックドッグ	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: 組み合わせた判定のクリティカル値を-LVする								
ハードワイヤード	1	-	常時	至近	自身	-	-	
効果: ブラックドッグ専用アイテム取得 初期侵食値+4								
アームズリンク	5	2	メジャー	武器	-	白兵	-	
効果: 判定のダイスを+LV個								
雷の加護	3	2	マイナーアクション	至近	自身	-	-	
効果: そのメインプロセスの間、あなたのブラックドッグのエフェクトを組み合わせた判定のダイスを+LV個								
イオノクラフト	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 飛行状態で移動。移動距離を+LV*2								
ミカヅチ	2	4	Xジャーアクション	-	-	シンドロームDロイス		
効果: ダメージロールに+3D10 判定ダイス-2 1シナリオにつきLV回まで								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

飄々とした、つかみどころのない性格で穏やかな口調で話す(予定)
 荒い言葉遣いは基本使わないが、不機嫌な時は若干荒くなる
 感情の起伏が穏やかであり、驚いたりといったことも少ない。ただ驚くときは驚くし、感情もちゃんとある

物心ついた時には実験体にされていた記憶しかないし、両親もなにも知らない
 実験の内容は筆舌し難いものが行われていたため、本人もあまり覚えてはいないし、思い出したくもない
 年齢はUGNに保護された時に検査してもらった凡その肉体年齢になる為、推測である
 実験によるものなのか、燃費が悪く鉛やガムなど、何かを常に口にしている。大食い
 経験から人間不信が強く、基本誰のことも信じていない

名前は実験体の時に使われていた「No.4110」から
 苗字は偶々目に付いたものがマツダの車だったから。その目に付いた車のナンバーは偶然にも「4110」だった

自分のことに興味がなく、学校で他の生徒を眺めたり、UGNの他の人を見ている方が好き
 自分というものが空っぽであり、オーヴァード、非オーヴァード問わず自分というものを持っている人への憧れを持っている
 ただ、それを思っても自分というものを模索したりもしないし、そうするつもりもない
 今生きているのは簡単に死ねない為、なんとなくであり、生にすら執着もない
 UGNに所属しているのは、実験施設から助けたのがUGNであったこと、また自分のようなものが生まれない方がいいと思っている為。感情やその他知識が助けられるまでなかったため、や感情の芽生えが遅く、悪いことをされていたという自覚もなかったため、UGNに拾われていなかったらジャームと化すか実験をする側になっていたかもしれない
 学校でもUGNでもそれ以外でも誰とも深くかかわらないようにしている為、一方的に懐かれたりといったことを除きただのクラスメイトや同僚、上司、ビジネス